

会 議 録	
会議の名称	平成29年度第2回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成29年11月22日（水） 午後1時30分から午後3時02分
開催場所	清須市役所北館2階 第1会議室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 〔報告事項〕 (1) コミュニティバスの運行・利用状況について (2) コミュニティバス利用促進施策について (3) 地域公共交通確保維持改善事業・自己評価について 〔協議事項〕 (1) コミュニティバス増便に係る基本的な方針について (2) コミュニティバス無料乗車券の有効期限延長について 4 その他 5 閉会
会議資料	会議次第、配席図、委員名簿 〔会議資料〕 資料1 コミュニティバスの運行・利用状況概要 資料2 コミュニティバス利用促進事業報告 資料3 レンタサイクル事業の実施状況 資料4 平成29年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（案） 資料5 平成29年度地域公共交通確保維持改善・事業評価（案） 資料6 コミュニティバス増便に係る基本的な方針及びそれに基づく素案の概要 資料7 全体ルート図（増便素案） 資料8 ダイヤ表（増便素案） 資料9 清須市コミュニティバス増便素案に対する意見シート作成要領 清須市コミュニティバス増便素案に対する意見シート 資料10 コミュニティバス無料乗車券の有効期限延長（案） 参考資料 今後のスケジュール（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	1人
出席委員	前田（繁）委員、山田委員、谷野委員、林委員、後藤委員、石原委員、加藤（榮）委員、宮崎委員、加藤（博）委員、杉本委員、桑原委員（代理）、大西委員、多田委員、栗木委員、

	徳山委員（代理）、宮崎委員、飯田委員
欠席委員	岩田委員、古田委員
出席者（市）	なし
事務局	（企画政策課） 河口課長、赤羽副主幹、藏城副主幹、杉原係長、横幕主査、 服部主事
会議録署名委員	林委員、後藤委員
<p>1 開会</p> <p>●事務局 定刻となりましたので、ただ今から、平成29年度第2回清須市地域公共交通会議を開会いたします。 私は、本日の進行を務めさせていただきます、企画部企画政策課の藏城です。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと思っております。前田会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>●前田会長 皆様、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、平成29年度の第2回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。 さて、本日の会議では、例年の第2回会議で取り上げている「地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（案）」のほか、あしがるバスの増便が議題となっています。詳細は事務局から説明があると思いますが、これまでのようなルート・ダイヤ改正に比べますと、増便に係る重要事項が議題となります。委員の皆様におかれましては、市民の方から、より利用しやすいコミュニティバスになったとだけいただけるような増便を実現するため、ご協議いただくことをお願いいたしまして、簡単ではありますが、私のあいさつに代えさせていただきます。 本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>●事務局 ありがとうございました。それでは、議題に入らせていただく前に、人事異動等により本日からご参画いただく委員様をご紹介します。 第6号委員で、清須市企画部長の宮崎（委員）です。よろしくお願いいたします。 続きまして、本日の会議の出席状況について、ご報告します。 本日の欠席委員は、第4号委員で愛知県尾張建設事務所 維持管理課の岩田委員と第5号委員で愛知県バス協会の古田委員のおふたりです。</p>	

また、他の公務のため、第4号委員で愛知県交通対策課の桑原委員におかれましては石屋様に、第5号委員でつばめ自動車労働組合の徳山委員におかれましては蝦名様に代理でご出席いただいております。よろしく願いいたします。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございます。

当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言について、次の2点についてご協力をお願いいたします。

まず1点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手をしていただいて、会長の指名を受けてください。

2点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、係の者がマイクをお持ちしますので、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいてから、ご発言いただきますよう、お願いします。

それでは、ここからの進行は前田会長をお願いいたします。

3 議事

●前田会長

それでは、ここからは私の方で進行させていただきますので、よろしく申し上げます。

まず、はじめに 会議録 署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録 署名委員は、座席順に林委員と後藤委員にお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が4件、協議事項が2件です。

みなさまのご協力の下、円滑に進めて参りたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

まず最初に、報告事項でございます。(1)から(3)までを一括して扱うということで、よろしく申し上げます。該当資料につきましては、順次、事務局から説明をお願いします。

〔報告事項(1)、(2)及び(3)について事務局から説明〕

●前田会長

それでは、この報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●宮崎委員

宮崎と申します。身体障害者の方が車椅子で乗りたいという場合に、乗れないということがあるという話を聞いています。どういう対応になっているのでしょうか。

●事務局

お答えいたします。全ての車両で車椅子での乗車が可能となるよう

改修しております、乗務員の操作研修も定期的に行っておりますので、各車両で1台ずつご乗車いただけるよう対応しております。

●山田委員

2～3点、伺います。サクラルートが7月からの3箇月間、前年度よりも実績が下回っていますが、原因は何ですか。

次にレンタサイクルは実績が目標を大きく下回ったということですが、結果の報告だけでなく、原因は分析していますか。

●事務局

まず、1点目のサクラルートについて、今年度は7月以降の実績が昨年度比で下回ったことに関するお尋ねですが、こちらは今年度のバス停ごとの利用状況でいいますと、9月実績でヨシヅヤの前年度同月比較で60名くらい減っている状況です。他のバス停は10～20程度の幅で全体的に微減しており、9月に関しては、五条川リハビリテーション病院で60名ほど前年同月と比較して下回ったというところがあり、全体的に下回っているという傾向であり、突出して特定のバス停で下回ったというデータが取れなかったため、確たる分析ができない状況であります。

2点目のレンタサイクルの利用状況が昨年度と比較して下回ってしまったというところがございます。資料3でもご報告させていただきましたとおり、基本的に利用者のウエートを占めるのは市外の方でございます。これまで利用してくださった方々がリピーターになっていただけるようなPRが足りなかったことと、新規の利用者を獲得するための市外へ向けたPRに注力ができていなかったという反省もございます。今年度そういった反省も踏まえまして、名古屋市でも放映されるケーブルテレビですが、スターキャットさんを通じてメディア媒体を使ったPRをさせていただいたところでもあります。

昨年度と違って、秋の26日間の計画日程のうち、これまで経過した25日間に雨天あるいは台風の影響で7日間中止ということも一因となっているものと思います。以上でございます。

●山田委員

山田です。私も色々な所へ出掛けるのですけれども、清洲城もそうですが、お城はあるけれども休む所やお茶を飲む所がない。お城へ来たら食事が出る所やお土産屋があるというようにしないと、お客さんが遠ざかるのではないかと思います。以上です。

●前田会長

ありがとうございます。そういう要望でございますので事務局の方お願いいたします。

他に委員さんございませんか。

●杉本委員

支局の杉本です。いつもお世話になっております。

先ほどのサクラルートの案件は非常に重要なことであると思えます。コミュニティバスの利用促進の1日無料デーの中のサクラルートが28年度に比べて、半分以上に減っていて、全体的にも減っているという原因はある程度掴む必要があると思えます。去年に比べ、例えば毎日使っていた人が転居されたということで使わなくなったとか、回数が減るということはあるのですが、そういったところを把握しながら分析をしていただけるとありがたいかなと思えます。

特に10月以降、若干の変更をしているかと思えます。まだ、概算的に出ていない部分があるかと思えますが、サクラルートは変更になっているところが多くあったかと思えますので、概算でもよろしいので10月の状況で掴んでいるところがあれば教えていただきたいと思っております。以上です。

●前田会長

ありがとうございます。事務局お願いします。

●事務局

杉本委員のご指摘の10月トレンドを掴んでいるかというのですが、本日お示しした9月までの資料の裏付けは手元に持ってきているのですが、10月以降のデータは持ち合わせておりません。申し訳ございません。また次回の会議でご報告させていただきます。

●前田会長

他に委員さん何かございませんか。

●加藤委員

加藤と申します。サクラの方でちょっと利用者が減ったとあったのですが、こういうこともあるのではと思えますのでお話しします。

新川の福祉センターのバス停が雨が降ると水が溜まります。高齢者の方がリハビリに施設に来ますので、そのお客さんが減ったこともあるのではないのでしょうか。バス停の足場に少し砂を入れるか、場所を少しずつ等何か対策を考えた方が良いと思えます。私は新川の福祉センターの所しか感じませんでした。他にも乗りにくい所とかあるかも知れないので何か対策を考えた方が良いと思えます。

●前田会長

ありがとうございます。事務局お願いします。

●事務局

ありがとうございます。ご指摘いただいた新川福祉センター始め各バス停、特に雨天時に足場の悪いということでしたので、事務局の方で、点検をさせていただきたいと思えます。ご指摘ありがとうございました。

●前田会長

ありがとうございました。委員さん他に何かございませんか。
加藤先生の方から少しご講評をお願いいたします。

●加藤副会長

サクラルートについては、私も心配です。9月は天候も良かったので、それほど大きな減少はなかったですけれども、サクラルートは出来てから段々利用が増えてきて、一巡したのかなど。一巡すると、段々少しずつ減っていくことになるので、そういった段階に入ったのかもしれないです。そういった意味ではこの後、増車の議論をしますけれども、その時にサクラルートはどうしたらもっと乗ってもらえるかを考えた方が良いのかなと思います。サクラルートだけは、バスが大きいからです、できるだけ多く乗ってもらえるように。バスが大きいので広い道しか走れないので、早く春日の方から市役所の方へ行けるようにして、そちらに集中しながらあと細かい道は他のルートで回っていくということをやらないといけないと思います。

無料デーは、この日だけ多くてもあまり意味がないわけです。しかし、この日に日頃は自家用車を使ってバスを利用していない人が4割も利用しているということはすごいことで、これらの人があしがるバスを今後も乗ってみようと思ってもらえれば、それだけでも増える要素になると思います。もっとポジティブ発想で、4割も日頃利用しない人が利用したとPRしてもよいと思います。

もっとも、こういう人たちがバスにどういう印象を持たれたかにもよりますが。今回乗って2度と乗りたくないと思われたら終わりなので、そこが無料デーの怖いところです。無料だから乗った、あるいは、お祭りだから乗ったけど嫌だったという人は、他の人にその印象のまま話してしまいますので気を付けないといけません。

それから、あしがるサイクルについては、以前からの繰り返しになるのですが、市民は乗らないので、対外的に清洲城とか市内の施設等々、観光だけではないかもしれないです。土日だけなので、仕事とかはないかもしれませんが、外から来る人にPRする必要があるので、市のホームページや観光協会のホームページで目にするようにすることが大切です。

ちょっと事務局とも話をしたのですが、貸出ポイントが新清洲駅でいいのかということ少し考えなければいけないと思っていて、個人的には枇杷島駅がいいんじゃないかなと思います。本当に新清洲駅でいいのかどうかは考えた方がいいのかなと思っております。

●前田会長

ありがとうございます。他に委員さんよろしいでしょうか。

他にご質問等ないようですので、次の報告事項4の「地域公共交通確保維持改善事業・自己評価について」に移ります。

事務局から報告をお願いします。

〔報告事項(4)について事務局から説明〕

●前田会長

それでは、この報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

●山田委員

山田です。バスの認知度の調査方法というのは、どのようにやられていますか。バスに乗った人にアンケートを取っているのか、全く乗っていない一般市民の方にアンケートを出しているのかを教えてください。

●事務局

山田委員のご質問にお答えします。今回こちらの方で、ご報告させていただいている出典元でございますが、平成28年の下半期に実施いたしました「清須市公共交通に関する意識調査」の調査結果を使用させていただいております。アンケート調査のサンプル2千人に対しまして、回答のあった方のうち、有効回答を分母といたしまして、「あしがるバスをご存知ですか」というところの回答を認知度として取っております。具体的には、「ご自宅の近くのバス停を知っている」「運行時刻を知っている」「運賃、主な行先を知っている」「あしがるバスの存在を知らない」のいずれかを選んでいただく形で、「知らない」以外を回答された方で数字を取っております。

●前田会長

よろしいですか。

●山田委員

山田です。私、土器野の坂町というところに住んでいるのですがけれども、「あしがるバスに私たちも乗れるの」と聞かれる方がまだまだ多いわけですよ。そういう中で、認知度97%というのが疑いがあるということなんです。もう少し広報等で誰でも乗れるということをしていただくと良いと思います。以上です。

●前田会長

ありがとうございます。事務局、委員さんよりご意見がございましたのでよろしく申し上げます。

他よろしいでしょうか。

●杉本委員

杉本です。非常に短期間の間にまとめていただいてありがとうございます。この表を公開したのが11月8日で、そこから落とし込んでいただいて大変ありがとうございます。

その中で1つ、2つあるのですが、まず、公共交通の姿、2ページの地域特性でございますけれども、もう少し膨らましていただいてもいいのかなと思います。ネットワークの将来図、こういう方向に向

かっていくというのがこの中に入らないので、図として追加していただきたいと思います。網計画の中に確かあったと思いますので、全体のネットワーク、将来図を追加していただければと思います。

あと、全体に資料4の中中部様式ということで、私ども運輸局の独自様式でございますから、非常にご負担をお掛けしているかなと思いますが、この様式を使っていただいたエキスが、次の資料5になってきますので、この資料4と資料5が整合性が取れていないと困るということになります。成果達成状況につきましては、「達成」ということになるのですが、意見のあったサクラルートの関係ですとか、あるいはグリーンルートの関係も昨年度には見られない利用者の伸びが見られたことに注目してということもありますので、そういったところは中部様式2でも少し触れながら全体的な整合性を取っていただくような形でまとめていただければと思っていますところでありませう。

あと、アピールポイントについては、やったことがあればもっとアピールしていただければ良いと思います。これをどなたに見せるかということ、市民の皆様に見ていただくということになりますので、市民の方が見やすい形でまとめていただければと思います。

● 前田会長

ありがとうございます。今、委員の方からご指摘、ご指導いただき誠にありがとうございます。

他の委員さんよろしいですか。何かございましたらお願いします。

ございませんようですので、報告事項の(4)については終了させていただきます。

引き続きまして、協議事項に関する議事に移ります。

まずは、次第の順で、(1)の「コミュニティバスに係る基本的な方針について」を議題といたします。これについて、事務局から説明をお願いします。

〔協議事項(1)について事務局から説明〕

● 前田会長

まず、本日の協議事項について確認させていただきます。

ただ今事務局から説明がありました。本日の会議では、資料6の「3 増便に係る基本的な方針」と「4 基本的な方針に基づく増便素案の概要」で示されている内容についてまず協議をし、この内容について採決を取るということになります。

そして、具体的なルート・ダイヤの詳細の議論については、以後継続的に協議を行うというものでございます。

具体的には同じ資料6の「5 スケジュール」にあるように、まずは、資料9の「意見シート」を作成していただき、その結果に基づいて今後の検討会議で協議を深めていくこととされております。

それでは、これらの資料について、ご質問等がありましたら、ご発言をよろしくお願いします。

●加藤委員

加藤です。サクラルート of 枇杷島駅東口から芳野公園北のバス停まで来る時間ですけれども、5分で来ることになっているんですね。これは絶対に来られません。というのは、警察署の前にある信号が長いのと、三菱東京UFJ銀行のところの信号がすごく混むので、待ち時間が長いのです。絶対にこの時間では来れませんが一度検討いただきたいと思います。距離的なものでこの5分というのは計られているのでしょうか。5分や10分必ず遅れています。高齢者が乗ることが多くイメージダウンにつながると思います。信号があって、この信号が長いので、何とか考えた方が良くと思います。イメージダウンにならないようにお願いします。

●事務局

ご意見ありがとうございます。ここの区間を5分で走らせるというダイヤですが、現行のダイヤが既にそうになっていて、運行上の支障が出ていないという認識でしたので、そこを変更していなかったのですが、ご指摘の趣旨を承りましたので、運行事業者のつばめ自動車さんと連携を密にして、荒い運転になってイメージダウンになってはいけませんので、そこに配慮したダイヤということを最終的に決めていけるように調整を進めますので、ご意見ありがとうございます。

●前田会長

他に委員さんございますか。

●山田委員

山田です。バス停を廃止する箇所、古城の地区2つともバス停を廃止するということですが、利用者が少ないということだと思っておりますが、古城地区の方にきちんとご意見を聞いてありますか。

●事務局

まず、数字のところの確認をさせていただきます。資料8のオレンジルート of 左側に昨年度1年間の利用状況が載っております。下から4番目と3番目が「城跡公園」「城並2丁目」になりますので、この2つの利用者の合計が年間で200ちょっとの利用者数ということで、ランク的にはCランク、Dランクということなんですけど、地元の方に「ここをなくしていいでしょうか」という風には意向等を聞いてはおりません。今回こちらでご協議に諮るということで、西枇杷地区は元々の鉄道駅が多いという特性等を踏まえて、今こういう利用実績だという認識の下、オレンジルート全体の利便性を向上させるためにどこで整理するかというところで、まずはここで整理してはどうかというたたき台としてのご提案です。よろしくお願いたします。

●山田委員

増便するための予算はあるのですかね。

●事務局

一応、この流れといたしまして、バスを増車することにつきましては、この公共交通会議でのご承認が必要となります。今こちらの会議をもって初めて出ささせていただいておりますので、議会への報告はまだいたしておりません。先ほど説明いたしましたように、まずは増便と方向性のご承認をいただきたいということでお願いしております。

このご承認をいただきましたら、当然経費がかかりますから、経費は当初予算での計上となります。当初予算は3月の議会、委員会で審議されるわけですが、そこで可決いただいて初めて承認となります。こちらが先かあちらが先かの議論はありますけれども、まずは公共交通会議の方にお示しさせていただいて、増便のご承認をいただく。その後、議会の方で予算の審議をしていただいて、議会の方で承認をいただくというような流れで考えておりますので、最悪山田委員がご心配されるように、予算が議会を通るかどうか、100%ではございません。そのようなスケジュールで進めていくという予定です。以上です。

●前田会長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

他に委員さんございましたら、よろしくお願いします。

●加藤副会長

議会にいう前に公共交通会議に諮っていただき誠にありがとうございます。通常は逆で、議会には言えるけど公共交通会議には言えないというところが多い昨今、こんなに重視していただいてありがたいなと思います。

それ故にここで良い案を出して、バスを1両増やしたことでこんなに便利になるのだからやらなければいけないという案にしていかなければいけないということです。

「2時間に1本にしていく」「ヨシヅヤで乗り継ぎができる」これはすごく良いコンセプトであると思っています。今までもやりたかったけど、3両だと出来なかったことです。

今、見ていてもうちよっと何とかならないかと思っていたことは、4両にすることでどこが一番便利になるかということ春日が便利になると。1時間に1本ブルーが回ってくる。しかもサクラもあるということで、1両分の半分くらいは春日が便利になるということです。これで本当にいいかどうかということは考えていかなければいけないことで、私先ほど言いましたように、サクラの便数をもう少し増やせるといいんじゃないかということで、サクラは2時間に1本になるだけでほとんど増えない状況。一方でこのブルーは春日で片回りですけど1時間に1本回ってくる。これが例えば、サクラが呼吸器病院まで行かないで、その代わりにブルーが1時間に1本、これにつながる形で、サクラの方に1両導入して、これを1時間に1本にできるといいかなと。

あるいはちょっときついかもしれませんが、ブルーとサクラが乗

り入れる形にすると西枇杷島会館から春日を1周して戻ると100分ぐらい。枇杷島駅から芳野公園が5分で厳しいと聞くとちょっと暗雲が立ち込めますが、もし100分で行けるのであれば、そういう風に春日の方を細かく回ってというのもあるかもしれないですし、時間的に厳しいのであれば、春日の1周は2時間に1本にするとかというのもちょうと考えました。

ただ、春日地区は人口は少ないですけれども、鉄道がない所なので1時間に1本走らせると今までに比べて利用が結構でてるかもしれないと思っているので、これはちょっと思案のしどころで、サクラルート重視して改正したらいいのか、春日を重視して改正したらいいのか、どっちがいいのかなと思ったところです。

後のところは、本当はもう少しシンプルにできるといいかなと。段々通る所を増やしていったので、段々時間がかかってしまって、でも利用としてはそれぞれいるので、中々切れないところがあって、実は一番端の所は毎回検討されて、毎回やらなかった。今回これをやるのがいいか地元の人に議論していただいて、あって欲しいとは皆さんいうとは思いますが、今の倍以上の利用者がいないと難しいと、きちんとお伝えしていくことが大事だと思います。

その辺りを皆さんにお聞きしたいのですが、サクラを1時間に1本走らせることができるといいかなと私は思っていますが、今の案ではできないので。地区によっても考えはあると思いますので、そのあたりはこれから議論をしていただければと思います。

●前田会長

ありがとうございます。他に委員さんよろしいでしょうか。

●加藤委員

加藤です。バスに乗って私たちが行く目的は、ヨシヅヤなんですね。ヨシヅヤですと、買い物に行くので今の時間がすごくうれしいです。というのは、行ったバスで買い物をして帰ってこれます。ですから、数が増えればいいという問題ではないので、そういうところも考えてもらえたらと思います。今のサクラぐらいの時間があれば十分買い物をして帰れます。あとは何本出るのが問題でしょうけど、私は買い物の時間を重視して、色々考えていただけたら嬉しいなと思います。

●前田会長

ありがとうございます。はい、どうぞ。

●宮崎委員

宮崎と申しますが、アルコに行ったのですが、バス停が分かりづらく、たまに行くところですので、もう少しバス停を分かりやすくしていただけるとありがたいと思います。バス停を乗り越してしまって、次のバス停から歩いてアルコまで戻ってきたので。

●前田会長

ありがとうございます。今、委員さんからのご要望でございますのでよろしくお願ひします。

他に委員さん、何かご要望とかご質問等ございましたらお願ひします。

●杉本委員

運輸支局の杉本です。色々の良い案を出していただきながら、オレンジルートはどうしても1便当たりの時間がかかるということで、サクラとの関係は、先生もおっしゃったようにどれが良いのか皆さんで決めていって、本当に良いものを作っていただければと思います。

あと、私ども含めて行政側は乗る時間とか運転時間とか非常に厳しくご指摘をさせていただいているところがございます。こういった改正にあたっては、連続運転や乗務時間をしっかり運行事業者と協議していただいて、できれば私どもの方に事前に見せていただきながら決めていきたいと思ひます。今回については、インターバルを含めて考えられていて、その間に乗務員の乗り換えなどの話も出てくるのだと思ひますので、安全面を考えて決めていただければと思ひます。

●前田会長

ありがとうございます。他に委員さんよろしいですか。

他にないようですので、ここで皆さんにお諮りいたします。増便に係る基本的な方針及びそれに基づく増便素案の概要に関しまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。只今承認をいただきました。今後、日を改めまして、具体案をまとめるということを委員さん方よろしくお願ひいたします。

それでは、協議事項1について終わります。

引き続きまして、協議事項2点目「コミュニティバス無料乗車券の有効期限延長について」を議題といたします。事務局から説明お願ひします。

〔協議事項(2)について事務局から説明〕

●前田会長

ありがとうございます。只今事務局から説明がございました。それでは、この協議事項について、委員さんから何かご意見、ご質問等ございましたらお願ひします。

委員さん何かございましたらお願ひします。

●加藤副会長

悩ましいですね。12月1日告示というのは、1日には公表するということですか。けど見ない人もいるだろうと。広報で見る人もい

るけど見ない人もいます。

既に申請した人から有効期限が1年になるならもう少し待ったのという人が出ることが危惧されます。これをやるなら3箇月の人にも6箇月にするとかしないと、ちょっと不公平な感じがするかなと思っちゃいます。何もなかった時は良かったのですが、3箇月が1年だとかなり「えっ」となるので。

●事務局

今、先生がおっしゃるとおり、3箇月から1年にすることでそういうことが生じるということは重々承知しております。今考えておりますのは、あくまで我々の立場として周知期間というのを大事にしました。例えて言うと、今日の公共交通会議を経て、要綱の関係もありますが、極端な話明日からできます。我々の役所仕事かも分かりませんが、まず周知期間を取るということを考えております。実質今の要綱で行きますと、免許証を返してから1箇月以内に申請をしてくださいということになっております。今日の公共交通会議を起点に考えますと、11月中に警察に返納した人まで基本的にカバーできるようにしております。といいますのは、11月5日ぐらいに返納された方が、1箇月以内に市役所の窓口で手続きに来ます。現に手続きに見えている方はみえますが、そういった方にはこういった計画がありますので一考してくださいという話をさせていただいております。

基本的に現時点で、11月の初旬に申請をした人は残念なことになりますけれども、そういった手当は最大限させていただいております。

もう1点先生が言われたように、今までもらっている方の待遇について、もう少し何か考えてあげたらという話ですけれども、これも実際のところ内部で調整させていただきましたけれども、基本的に我々の仕事柄こういった案件ではいいんですけれども、もっと大規模な補助金とかは制度改正によって、こういったことはつきものです。それを全部の事業について清須市としてやるのかということになるので、こういった制度にするに際して、全体的な議論の中では、涙を飲もうかということ、今この案にさせていただいているということでご理解いただきたいと思います。

●前田会長

ありがとうございます。他に委員さんから何かございますか。

●事務局

会長、1点確認をさせていただきたいのですが、今回無料乗車券ということで、料金に関わるということ、協議事項にさせていただいているところがございます。今まで、3箇月ということ、やらさせていただいておるのですが、これを1年間に延ばさせていただくに当たって、今支局さんの方に運賃の申請をしているのですが、変更の申請は必要ないとの認識なのですが、そこの辺りを確認させていただきたいと思います。

●杉本委員

運輸支局の杉本です。

現行やられているということなので、特に必要ないかと思えます。引き続き、適正な形で事業者側にお支払していただければということでございます。

●前田会長

よろしいですか。他にご質問もないようでございますので、ここでお諮りいたします。本件に関しまして、事務局案のとおり、ご承認いただけるでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。

これをもちまして次第の「2 議事」を終わります。

以上をもちまして、本日予定されていた議事は全て終了いたしました。長時間にわたり、慎重にご協議いただきありがとうございます。

次に、次第の「3 その他」に移ります。事務局から報告事項がありましたらお願いします。

●事務局

本日、長時間に渡ってご協議いただきありがとうございます。ここで、事務局から3点ほどご報告とご案内をさせていただきます。

まず1点目ですが、本日の報告事項(4)でお示しをした「地域公共交通確保維持改善事業・自己評価」につきましては、本日ご指摘をいただいた点等を修正の上で、運輸局さんへ提出させていただきます。

続きまして2点目です。本日協議事項の1点目でご説明したとおり、本日ご承認いただいた素案をたたき台として、今後、具体的なルート・ダイヤの協議を進めてまいりたいと思えます。

その中でお話をさせていただきました、資料9をご参照の上、添付の「意見シート」にご意見をご記入いただきまして、ファックス・郵送・メール等により、11月30日木曜日までに事務局へお出しく下さいますようお願いいたします。

12月に開催させていただきます専門部会につきましては、市民委員さんをご出席いただくということでございますが、ご意見につきましては全ての委員の皆様からご意見を頂戴したいと思っております。その意見に基づきまして専門部会を進めてまいりたいと思えますので、意見シートにつきましては全ての委員さんご提出していただければ幸いです。

続いて3点目です。資料6の2枚目「5 スケジュール」でもお示しをしておりますように、市民委員の方々にお集まりいただき、増便後の具体的なルート・ダイヤについて協議していただきたいと思っておりますが、そちらの開催通知を今配付をさせていただきました。こちら12月の会議の開催通知でございますが、ご出席のほどよろしく申し上げます。以上でございます。

●前田会長

それでは、ただいま事務局から議事以外の報告・案内事項がありました。

これらを踏まえまして、何か委員さんございましたらお願いします。

〔特になし〕

それでは、これをもちまして、平成29年度第2回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

長時間に渡りまして、慎重なご審議ありがとうございました。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

4 閉会（午後3時02分）

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3214
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 林 巖

署名委員 後藤 美奈子